

秋田1/2

No	ご意見・ご感想
1	出席者の意見はどうするのか？
2	・一部を除き、BSE報道に偏りがある(不安をあおっている)科学的、専門的内容をキチンと報道して欲しい。あわせて、広告、ペイドパブリシティなどをもっと使って広く不安解消に努めて欲しい。わざわざ会場に足を運ぶのは大変。・トレーサビリティ=安全と思っている人がいる。正しく教えないと。
3	21ヶ月未満のBSE検査が行なわれなくなった時の線引きは具体的にどうなるのか。20ヶ月と何日であれば検査除外されるのか。そのライン前後の牛はどうなるのか。牛は夜に生まれることが多い。トレーサビリティがしっかりしているとは言え、数日の誤差は必ずある。対応については、パブコメ等により、よく論議して欲しい。
4	参加して見て一安心しました。全頭検査が望ましい。
5	意見交換の方も大変よかったです。これからも検査、よろしく願います。
6	秋田の現状を知っている人もパネリストの中に入っていれば良かったと思います。
7	質問者の意図が解りづかったものがあり、時間が勿体なかった。
8	意見交換会というよりは、国の言い分を少しでも話す会であったので、開催について疑問ある。
9	BSE対策の全頭検査は引き続き実施する考えを継続して欲しい。又、死亡牛や症状が出た牛については初期検査でチェックがあったものも市場に出廻らないようにして頂きたい。
10	店頭点検等巡回指導の強化を図って安全土、安心感を高める行政を願いたい。
11	早期輸入再開へ安全をもっとアピール。
12	会場に机があったらよかった(狭い)。時間不足。
13	農水・厚生・食品安全委員会の皆様ご苦労様です。秋田でこんなに専門の先生のお話を聞く事が出来ましてありがとうございます。今後共よろしく願います。
14	スクリーン設置が低くて、見えづらい(前の人の頭部で)。
15	会場に配慮をしてもらいたい。資料やメモ等机があったほうが良い。
16	今まで検査方法等疑問あったが今回の話し合い参加して理解度が高まった。これから関心を高めて生活したい。ありがとうございました。
17	中間とりまとめとなっているので最終もとりまとめをした結果を参加者に知らせるべきものと考えます。
18	HIV、C型肝炎と同様、もっと対応が速やかであれば、問題の解決も早かったのでは。
19	問3でわかりやすかったと一応2に〇印しましたが専門用語はわかりやすく説明された方が良いと思う(例、「ばし口」)。今後も多く開催の必要性有。
20	大変参考になりありがとうございました。※日頃、様々な食品に関する情報を提供していただいている事に感謝申し上げます。
21	BSEの検査は、安全・安心を得るために必要なことであるが、これに係る費用は莫大である。BSEではSRM除去によるリスクがほとんどなくなるのもっとリスクの高いことに有効に費用を利用すべきだ。
22	会場がせまかった。
23	机がなく、書きこみができず、不便であった。
24	日本のBSE対策は、お金をかけすぎと思う。国の財政状況が厳しいのだから、EU並みで良いと思う。牛の全頭検査なんてやっている国は、世界にない。早く、米国産牛肉の輸入を再開して欲しい。

秋田2/2

No	ご意見・ご感想
25	<p>①牛肉の安全は「特定危険部位の完全除去」こそが大切。②消費者は、安くて美味しい牛肉を早く食べたいと願っている。あくまで個人的私見だが、業界雑誌等やこのような意見交換会からの情報、アンケート結果ではこのような事が言えるのではないかと。行政はこのような結果(BSE)を招いた原因をつくった。早く遅れをとり返すような対策をとってほしい。何がほしいか？①行政はせめて人として生きていく為の健康についての情報はかくす事なく開示してほしい(薬害エイズやC型肝炎などいつも後手、後手)。②BSE対策のすばらしさはわかった。今後もより高度な対策の追求と維持をはかってほしい。③米国からの輸入には基本的には賛成だがまず輸入ありきの姿勢には反対。みんなが納得できる体制を経てからにしてほしい。安心な美味しい焼肉が食べたい！</p>
26	<p>質問の途中でベルを鳴らすのは失礼だと思います。</p>
27	<p>時間が短い。</p>
28	<p>会場がせまい。</p>
29	<p>WB法は定***であり、異常プリオン量が少ないなどの定量を行うことは？<スライドNo. 27> **と思うが説明は？濃縮、増*でも100倍がLimitでした。</p>
30	<p>時間の関係もおありでしょうが、少し早口でした。開始時間を少し早めて、折角のお話しですのでもう少しゆっくり説明して下されば、よりわかり良いと思います。量的に対して本当に時間が少ない。私共の様に遠くからの人間には帰りの関係もあります。</p>

京都1/2

No.	ご意見・ご感想
1	<p>食品安全委員から、初めて実のある誠実なご回答をいただきました。信頼していきたいので、きっちり委員会主催のこうした会合を続けて欲しい。アメリカからの輸入問題は、ふんばりどころであり、日本の農家を守るためにも、日本の対策を充実させて欲しい。</p>
2	<p>・これからも意見交換会は必要。しかし、一部の知りえた者だけの場となっている。・もっと広く国民に問う対策を願う。・米国牛輸入に関しては、食安委員会、厚労省、農水省の積極的発言をのぞむ。</p>
3	<p>安くてうまい肉を食べたい、との意見がありましたが、それに安全をつけ加えたいために、いろいろ学習して意見を言うところですが。科学的ばかりでなく、情緒的な部分も大切にしていきたいです。もちろん科学的な裏づけがあれば良いですが。</p>
4	<p>・安心して肉が食べられる。</p>
5	<p>食品安全委は、日本で暮らす人々の安全(利益)を守ることが最大の目的であることを徹底してほしい。マスコミで何度も牛丼チェーンが取り上げられ、アメリカ産牛肉の輸入再開が国民の利益であるかのように報道されているが、安い牛丼を食べられることは国民の安全を損なうことにつながることを認識してほしい。</p>
6	<p>以前のリスクミ等では、アメリカ寄り?の言い訳じみた応答のような部分があると感しましたが、本日は非常に正直な説明、応答と感しました(農水省の応答を除く)。</p>
7	<p>ヤコブ病の患者が発生して補償するよりも、BSE対策として対策費がかなりなものということは理解できますが、現段階ではやむを得ないと考えます。しかし、肉骨粉の輸入を止めることが、英国の発生後すぐにできていたら、ここまでの対策は必要でなかったのであります。その意味から、食品安全委員会に警告の機能を期待するものです。</p>
8	<p>1%または0. ?%であってもそのリスクをおい、vCJDになってしまう。そんな人が、私の大切な家族に生じればと思うと、不安でたまりません。どうぞこの思いを行政に届けてください。</p>
9	<p>BSEに関して、国民の安全を第1に考えていると云う事で、今アメリカ牛が入って来る事が無いと思うが、アメリカに押しきられ、国民の食の安全が守られなくなる事は絶対無いように、BSEにかかりやすい遺伝子を持っている日本の国民の事、しっかり考えて下さい。</p>
10	<p>今までに何度か意見交換会に参加していますが、ほとんどが「全頭検査を維持してほしい。安全性の確認されていないアメリカ牛の輸入再開はやめてほしい。」という声でした。その声をぜひ反映してほしいと思います。今、医学でも予防医学がすすめられています。20ヶ月以下は出てないからでなく、出てからでは遅いのです。予防するための手段が必要なのではないでしょうか。安全性の確認できないアメリカ牛を輸入するより、国内牛の生産を高めることが重要なのではないのでしょうか。今まで国は、薬害エイズなど、様々なあやまちをくり返してきました。そういう問題を2度とくり返さないために、まずできる事、全頭検査維持をしてほしいです。</p>
11	<p>会場から出た意見に対しての質問の答えがなかった。米国産牛を輸入再開するために、20ヶ月以下の牛の検査体制が11変わったとしか思えない。ここに来て、心配は変わらないと思った。残念ながらこの意見会は、国交とは関係ないのだなと思った。</p>
12	<p>直感的に、全頭検査を20ヶ月以下でやめると言われたら、牛肉を口に入れるのがこわくなります。全頭検査を続けて下さい。「安全」と言われて、血液製剤を輸入し、体内に入れてしまったHIVとだぶります。外からの圧力で、これまでの積極的な到達を投げ出さないで下さい。これまでの努力してきたことを、これからも生かして欲しいです。</p>
13	<p>消費者はとにかく不安なので、安心できないと購入できません。科学的に安全だと言われても、納得できないと「安心」できないので、くり返し、わかりやすく、様々な機会に説明して下さい。今はまだ「安心」と納得できていないので、とにかく全部検査してほしい。</p>
14	<p>全頭検査を続けてほしい。飼料規制の緩和でなく、飼料規制を厳重にしてほしい。国内、輸入どちらも。</p>
15	<p>消費者の関心、疑問、不安に対してのお話ではなかった。</p>
16	<p>・リスクコミュニケーションについては、食品安全委員会が信頼されるかどうかにかかっている。プリオン専門委員会の議論の内容も含め、できるだけ情報公開をしてはどうか(BSE調査検討委員会でも公開で大きな信頼を得た)。・日本の消費者とアメリカの消費者との意見交換会も有効でないか。</p>
17	<p>○国民の意見は20ヶ月令の検査除外も含めて、今の検査方法をゆるめる事に反対。・費用も20ヶ月令の割合は10~20%にすぎない。その事でどれだけの不安が拡大するか計り知れない。アメリカの輸入問題も同じ。○食品安全委員会の消費者の立場に立った判断を期待します。</p>

京都2/2

No.	ご意見・ご感想
18	牛のトレイサビリティシステムが確立されたら、早くもその信頼を裏切って、牛の耳に装填される「個体識別情報」の不正付け替えという「偽装表示」事件が起っている。もはや消費者は、生産者、販売者を全く信頼できない。眞に怒っている。嚴重な対策を望む。最終的に消費者は「肉は食べない、買わない」の不買運動で行動を起こすことになる。
19	政治的な見地から、米国牛の輸入への行政的誘導だけはしてほしくない。「リスクコミュニケーション」の消費者の意見をほんとうに行政に生かしてほしい。
20	なぜBSE検査をしているのか？なぜSRM除去をしているのか？なぜUS産牛の輸入禁止をしているのか？現在の政府の対応に疑問を感じる。
21	食品安全委員会メンバーとして「消費者がどうしたいのかに答えていく必要がある。」と言われたことが印象的でした。科学的は大切ではあるが、20ヵ月以下の検査をやめるのは時期はやしと思います。
22	場所の表示がわかりにくかった。配付資料がもりだくさんで話しが早く理解しにくかった。
23	大会議室にたどり着くまで分かりにくく、誘導の人を置いて下さい。大変不親切です。
24	食品安全委員会の調査に基づいての政策が、本当に私たちの納得でき、安心して食べることのできる生活であることを望みます。
25	いろいろ聞かせてもらって理解が深まった部分と、「わからない」事がまだまだたくさんあるという事で、不安も残ります。ゆっくり安心できる体制をしっかり作ってほしいし、政治決着で米の要求に負けないでほしいと思った。広報の部分ももっと広げ、わかりやすくして下さい。
26	・質問時間が短いので、まとめでの質問になったのは残念。「命」を食していることを今日の話でも痛感しました。検査も大切ですが、肥育などの現状や考え方も検証する必要があると思えました。会場から「安くて旨いものがほしい」発言がありました。否定はしませんが、もっと大切なことを消費者は考えなければならないと、思います。京都生協〇〇。
27	質問に対して、焦点のあったわかりやすい応え方をしてほしい。と畜場についての安全対策が全国で格差なくすすむためにどうしているか、具体的に答えてもらわないと不安がぬぐえない。日本のBSE対策のみで輸入牛については、まだまだわからない、安心できない事はよくわかったが、それではリスクを下げられるとの安心が得られないままです。日本・安いものと高いもの。BSE対策としては感染源の、1原因究明、2検査体制(若齢牛についても出来る)、3牛肉の解体すると畜場の安全対策がまだまだ不十分。商品安全委員会では、世界の最高レベルの研究者(ノーベル賞、〇〇〇〇)の意見で、消費者の不安を残さない、国民の安全を保障できる若齢牛も検査。全頭検査、と畜場の安全対策の徹底、原因究明の対策を進め、科学的評価対策の進捗状況を公開して頂きたい。消費者の不安をかかえた状況のまま、アメリカ牛の輸入を急ぐのはすべての牛肉に対して、消費者の購買意欲をそぐことになる。
28	「20月齢以下は検査しなくて大丈夫」といわれることが、リスクとしては小さいかもしれないけれど(科学的知見としての安全)安心ということでは、とても不安が大きくて、消費者としては納得出来ません。又、それが(これから、対アメリカ対策の変更にギロンするといわれますが)アメリカ牛の輸入再開につながるみたいなのは不安です。

名古屋1/3

No	ご意見・ご感想
1	現時点で最善の対策を！国民への正しいわかりやすい説明を！
2	一部の消費者の不安を取り除くのは大変だと改めて感じました。
3	会場はもう少しスペースに余裕のある場所のほうが良い。狭くて長時間の聴講は苦痛。
4	開催時間が遅いので、もう1時間位早めてほしい！
5	とてもよい交換会でしたが、時間帯をもう少し消費者参加者の事を考えてほしい。それは多くの消費者が参加できることが大切な行事かと思えます。今日はありがとうございました。
6	開催時間が遅過ぎる。せめて4時半には終わるように。
7	・規制を厳しくすると困るという委員長の話は理解に苦しむ。・孤発生のプリオン病が85%という〇〇〇〇の意見に耳をかたむけて下さい。全頭検査、SRM除去どちらも望みます。
8	科学的に答えていない。
9	会場が狭い。
10	・会場は、もう少し広くしていただければ。・事前質問が効率的では。
11	何回か参加しています。今日は新たな知見を得るか期待して参加したのですが、同じ様な内容で進展はありませんでした。同一人物の意見(声の大きな人)を聞く時間をとりすぎていたように思います。
12	機会ある毎にお願いします。
13	BSEにかかっていないのに(検査合格した)、SRMを廃棄する必要はないと思います。BSEにかかった牛だけ全頭廃棄すればよいのでは。
14	消費者のBSE対策に対する問題点・要望が聞けてよかったと思う。
15	安全な肉を食べたい。全ての牛に関して検査継続を！生産者の為にも続けて欲しい(安全の安売り反対します)。限りなく安全な牛肉を消費者へ提供すべき。
16	早く輸入を再開していただきたい。20ヶ月以下でのBSEプリオンは、特に問題がない事が理解できました。
17	日本において、BSE対策を厳しくしてるわりには、農林水産省の資料3にある各国のBSE発生頭数が、カナダに比べ日本は約3倍発見しているのはなぜか？
18	毎回、もう少し進歩した内容になっているのかと思いますが、ほとんど同じ内容・回答です。とても残念でなりません。
19	マイクの調子が悪く、言葉が聞き取りにくい。
20	誠意を持ってお答え頂き感謝しております。委員長の強いご発言で、特定部位除去を確実にすれば安全は保証されること。末端までそれらの作業の確実性が保証される様、行政の特段のご努力を強く希望します(〇〇先生には、大変申し訳なく思っております。お許し下さい)。東京都〇〇〇。
21	環境省の方がいらっしゃらないので質問ができなかったが、最終的には焼却処分だが、セメント焼成に利用するのにも限度があり、また化成処理されていないものは水分が多く、化成処理されたものはカロリーが高すぎ焼却が困難。焼却に対する考えを伺いたかった。
22	飼料規制後にホルス去勢(お肉になる)牛からBSE感染がわかったことは、重大なことだと思う。20月齢以下は「見つからないんじゃないかと思うので」という発言は、科学的でも論理的でもない。飼料規制後、まったくBSEが出なくなるまで検査してほしい。技術も向上しているの、研究も進んでいると思うので、取り入れて検査してほしい。生きたまま検査する方法他、いろいろあると思う。「安心」は、信頼しているから言えることです。「安心」して牛肉が食べたいと思います。
23	・終了時間を延長しており、他の会場での状況も把握していることと思うが、時間的に充分ではないのでは。・メモが非常にとりづらいので、机のある席も用意してほしい。

名古屋2/3

No	ご意見・ご感想
24	狭くて窮屈だった。テーブル付きの会場を手配して欲しかった。
25	問3、すごくわかりやすかった資料ですが、かえって不安になりました。本当に、私達消費者というより国民の視点にたっているのでしょうか。国民世論が高まる以前に、きちんと国の政策として本来は取り組まれているべき事が、後手後手にまわっている。厚生労働省や農林水産省って、本当に何の為にある省なのでしょうね。でも誰かがやって下さらないと、少しですが期待します。食品安全委員会の皆様へ。
26	厚生省と農水省の報告は、原因と発生要因を相互にふみこんで評価したものにならない。これまでの370万頭の検査の評価が、具体的・分析的に伝わらない。
27	早期に米国産牛肉の輸入再開を求めます。検査を全頭するかしないかより、危険部位をいかに除去するかに重点を置いて、「安心」より「安全」を確保していただきたい。アメリカ人が毎日食べている肉を、なぜ日本人は食べてはいけないのか…？消費者の自由選択を求めます。
28	新たな情報を提供して頂けるのかと思ったが、すでにTV、新聞等で公表されている内容。再開に向けた見通し、又は日米間の協議での内容etc等進捗をうかがいたかった。
29	安全、安心と科学性のバランスのととり方は難しいと思った。今日の講演で、今までなぜ肉骨粉化してから焼却するのか疑問に思っていたが、その理由が解った。
30	会場が狭く、資料も置けない。飼料業界が大きな負担をしている訳で、無駄にしない為にも消費者の信頼を得る為に、全頭検査を継続すべきである。
31	時間の関係か？分かっている人が説明をする場合、相手が分かったかどうかまで、考えて頂かないと、早口でついでいけません。資料が多い分、机がない分、聞き辛い交換会講演でした。
32	意見交換会に参加しているのは、一部の消費者等だと思います。BSEの発症から3年たって、消費者の感覚も変化していると思います。幅広く、知らせて関心を持たせることを事を考えて下さい。パソコン等以外でお願いします。
33	・今後も、BSEが発生する可能性があると思われるのに、検査体制を(3年しか検査していないのに)甘くするのか分からない。・今後の感染率が0.1~0.9と簡単な、数字に置き換えられているが、正確な(四捨五入しないで)数字にして欲しい。余りにも簡単すぎる！・SRM除去の不備、ピッシングの問題、飼料問題、検査技術の進歩など問題が多くある。現時点の21才以上の検査では、安心できません。
34	ごく一部の偏見を持った消費者の会合であると感じた。もっと常識のある消費者の出席を望みます。早く輸入解禁を望みます。
35	全頭検査実施後3年間の中間取りまとめは解るが、どうして今なのか？米国牛肉輸入再開問題とどうしてもリンクする。米国のBSE問題に対し、もっと日本の主張を展開すべきではないか(米国の日本の全頭検査体制は非科学的であるとの言葉には憤りを感じる)。
36	司会の方の声が聴き取り難かった。ボリュームを上げてもらって良くなりました。進行(質問時)の時も、早く喋られるので、聴き取れませんでした。時間は充分無いとは思いますが、解りやすく話してください。担当の方の説明は良く解りました。
37	代用乳について、どうしても気になります。生まれた牛は、3日間母牛からのお乳を飲みますが、それから飼料を食べるようになるまで代用乳を飲みます。その代用乳がはっきりしない限り、(子供でもそうですが、小さい頃の方が成長が速い)霧は晴れません。21ヶ月のことにしても日本では20ヶ月未満だから、全頭検査はいらないという考え方にも説得力が無いと思います。よく交通事故死より少ないとか例えられますが、食の問題はそういう事故のものと一緒にして欲しくなです。私たち消費者は安全、安心なものを食べたい。国を信頼したいと思っているのですから。
38	米国からの輸入を認めることによって日本の規制を緩めることは止めて欲しい。原因解明を早めに！輸入牛でも安全な物なら必要な人が食べられるようになるといいのでは！
39	BSEについてもう少し明確にご当局の見解、意図を示して下さい。安全対策は全頭検査ではなく、SRMの除去である。しかしBSEの原因は肉骨粉である。従ってフィードバンの徹底をすること。
40	今後も時間が許せば、参加したい。

名古屋3/3

No	ご意見・ご感想
41	日本で初BSEの確認から3年…過去3年間に渡り確固たる管理対策が成されて来たとお話。1986年英で確認されその後日本の当時の厚生省に何らかの(危険)連絡があったにもかかわらず情報伝達も怠りそれを危険を危険とせず放任した事により今日に至り、対策が遅れた事についてどの様にお考えなのでしょうか。責任を感じることはありませんか。
42	・死亡牛の処理費用の補助が全国統一になっていないのは、おかしいのでは？平等にしていって欲しい！！・全頭検査は絶対にするべき！！日本としての凜とした態度を取るべきだと思う。
43	食品の安全性については、健康に最も関係が深いことなので、これからも安全性には心を砕いて欲しい。日本の全頭検査の姿勢は崩さないで欲しい。
44	・もっと一般消費者の目にもとまるような方法で広報して欲しい(ホームページで開催を知ったが、他の場では目にしなかった)。 ・21ヶ月令の牛でBSEが発見されているのにたった1ヶ月しか変わらないだけの20ヶ月令以下はノーチェックになるのか？この1ヶ月がそんなにも異常プリオンの蓄積に差が出るのか？納得が出来ない。
45	・全頭検査に対しての見直し必要。 ・原因と想定される危険部や、肉骨粉などもっと、消費者へ情報発信して頂きたい。
46	外務省に圧力に負けないでください。頑張れますか？
47	不安を強く感じました。①中間まとめの方向がますます不安である。②アメリカの要求で安全性が損なわれるのではないかと。

No.	ご意見・ご感想
1	BSE対策も大切だが、人への感染のリスクを説明すべきなのは、vCJD患者は、日本人に比べ大量の特定部位を食べていた！という事をもっと強く説明すべきでした（イギリスでは脳をミンチにしたりして、常に食べていた。それだけ食べていても発症したのはあの人数である。ガン等の病気に比べ、はるかに少ない確率である）。消費者は、牛が病気になることを心配しているのか？そうではなく、人に感染する事を恐れているだけです。BSE牛が出ると危険というが、何故そう思うのか？聞いてみてもいいのでは。今回の講演は牛がBSEにならない、BSE牛を検出する、そういう講演にしか聞こえませんでした。
2	対策費用を多くかけているので信頼に答えられる対策をお願いします。今は参加してより安心感が増しました。これからも全頭検査をお願いします。
3	食の安全安心について講演会にはよく参加していますが、今回の様なBSE対策についての参加は初めてなので、すごく勉強になりました。全頭検査について…全体に行きとどく様に依頼して下さい。消費者に真実を伝えてほしい。うそ、いつわり、のない様に食品安全委員会が正しく委員らしく、みなさんで協力体制をおねがいします。
4	ありがとうございました。これからも、このような会をしていただきたい(地方でもの意味を含めて)。
5	意見交換会が形式とならない事を望む。
6	参加者の質問を選びながら答えているような気がしました。消費者の意見として、おいしくて、安い牛肉が早く食べられるようになってほしいと思いました。
7	地方での交換会はめったにない参加の機会であり、もっと自由な発言の時間をとってほしかった。安全の基準は、消費者が決めることです。BSE検査の費用が、税金の無駄使いとの意見があるが、税金の無駄はほかにたくさんある。食の安全のために税金を使うのは納得できること。
8	開催日を土、日にすれば参加者も多くなるのではないか。講演者の話すスピードが早く時間をもっと長く(30分→50分)すべきだ。特に〇〇さんの話しよく理解出来ました。会場での質疑応答集を総めたものが後日頂ければありがたい。
9	知識の差が大きいと、あるいは、関心のポイントが異なるため、このような会を幾度となく行うことの重要性を痛感しました。
10	解りやすいお話で参加してよかったと思います。有難うございました。食肉検査所に見学に行き牛から肉になるまでの行程を見せてもらいました。ピッシングが一番始めに脳死？させるために額に穴を開けるのだと思っていましたがピッシングをしないでどうして牛を安楽死できるのかと思いました。又プリントをよく読んで勉強します。
11	100%安全な食品はないと思うがそれに近づく様に。
12	もっと現状を伝えてほしい安全はペーパーヒにならないでほしい。マニュアルを作っても実践する現場が十分でない安全は保障されない見本的なすみずみまで行きわたる方針をしめてほしい。世界の飼育状況は日本とはちがうため、輸入肉に対してはもっと強化してほしい。もう少し時間をとってほしい。今の時間では交流にならないと思います。一方的な説明会を目標にしたように感じました。
13	新しい不安材料が次々発生するので消費者として、どう対処してよいかわからない。
14	日本VSアメリカの牛肉の考え方がまったく違い困っています。政治家の不信感がないと言えない。安心して食べられるようにしてほしい。牛丼がもと通りなると願っています。
15	BSE発生以降アメリカからの禁輸により信頼性が高かったが、政府高官が交流、交渉のたびにトーンが下ってくる。委員会が政府間交渉に合せ御用的に感じる。遺憾。独自性を全頭検査の維持、輸入については時期早い。
16	豚由来の肉骨粉解禁については、原料供給先の川上である。事業者段階(肉屋)での牛肉と豚肉の交合が必ずおこるよ様に思う。そのあたりを徹底しなければ、新たな感染源となる危険がある。
17	・あまりにも露骨に“米国に右にならえ”というのがみえみえ、日本独自で消費者から支持される政策を！・生体での検査研究しているらしいが、生体のどの時点ですの？食肉となる直前の検査が望ましいと思うが…。
18	専門知識の応答と一般消費者の知識の差を感じさせられました。予備知識が新聞程度だったので少々難解な処がありましたが、良い勉強をさせていただき有難うございました。

No.	ご意見・ご感想
19	委員会は、食品の安全に長年たずさわった食品衛生監視員として輝く星であり、救世主です。公開と政府の干渉を排除して、視張っていただきたい。
20	SRM除去の完全実施をどのように保証するのかを明確にしてほしい(全国どこのと畜場でも同一のマニュアルで実施されるようにする必要があるのではないか)。
21	時間がなかったのかやや早口であった。もっと早く対策をとってほしかった。
22	安全対策、安全へのリスク等よく理解しているが農家、消費者の安心感を考えて(世界に唯一の体制)全頭検査はぜひとも継続してほしい。輸入対策は別に対応すべきで、肉は消費者が選ぶ方法にして良いのではないか。
23	全体の意見は全頭検査か。
24	検査した牛肉としない牛肉が店頭に並べば消費者販売者も混乱するのではないかとと思われる。都道府県まかせにしてよいのか？
25	未検査の輸入牛、若齢牛が加工食品や外食産業の食材として、知らない間に口に入る恐れがあることが心配です。特に安価な輸入牛が、利潤第一に輸入、使用される事、最近の不正の報道等をみると企業は信頼できません。ぜひ、全頭検査(輸入も含めて)を続けてください。20ヶ月以下でと殺される牛は全体からすれば、ほんの一握りだと思います。20ヶ月以下を除く事で、費用を削減するより、価格に上乘せになっても安心できる牛肉を選びます。
26	20ヶ月未満の検査(BSE)が不可能(現在)ということはわかるが、一般の人たちは理解しがたいようだ。「安全」でなく「安心」の為、全頭検査は継続すべきと思う。
27	意見交換の進め方をきちんと説明してから始めるべきだ。質問書の取り扱いも最初に説明してほしい。
28	・飼料会社がBSE対策にかかったコストを国はどのように考えているのか。私企業としてはかなりの負担である。
29	リスクコミュニケーションの意義が不明である。・全国展開は単なるガス抜きですか。・みんなの意見を参考にしてということであるが、コミュニケーションの意見はどのように数値化するか。・多分、数値化は困難でしょう。・コミュニケーションの評価方法を事前に示すべき。
30	発症リスクの低い物に、多額の検査費用及び、飼料の流通に対しての規制が厳しすぎる。これだけ厳しくしているということは、アメリカからの輸入は絶対にしてほしくない(内に強く、外に弱くではダメ)。
31	今も昔も食品に対して頭に先にあり、今も私手を作り、家でとったものでつくり、その時色々なことを聞きますと何でも働くといった時代になって買った物ばかりが主になっているので、その事、家の人が少ない昔10-12人といった家が多いため、家で作る。買う所がない。今の子供はお金をやり、どこかで食べたらいとか言っている人増えた。女性として主婦としての認識もうすれている日本人に生まれてとの家庭生まれてない人が多い。やはり男女同権共働社会といったものもあまりいいことばかりか良いとはいわれたいです。その人たちの生活を職場ももっとも勉強*心*がもつべきではないかと思えます。私は松阪よりきたが牛を殺している場所通って、いつもその場で見る事多いですが、カラスや地区のそのせんに多いので見た目気持の良いものではないので、又この機会に考えて下さい。肉は食べられないです。
32	全頭検査をやめることに対する意見がもっとでるものと思っていた(今は中間とりまとめで最終でない)。その意見交換でもっと盛り上がる事を期待した。
33	・アメリカの言いなりにならず日本独自の見識を貫き通してほしい。・SRM除去を完全に安全に実施、監視できるように特にお願ひします。
34	検査は化学検査に基づいたもので…。答えが自分はわかっての答えで皆さんは答えの中身は不明と思う。
35	・20ヶ月齢以下の感染牛を現在、検査で発見する事ができないとしたら、肉牛の月齢出荷を検査方法が見つかるまで検討はできないのか。・BSE感染から発症まで、2~8年あるとしたら3年で緩和措置をとるのは時期早尚ではないか？
36	全頭検査を継続すべきと思う。
37	一般消費者は安全・安心な物を要求しますが、生産者・業者・企業この取組をしていられる方のご苦勞を強く感じました。(理解しにくい所もありました)。
38	・やはり、全頭検査を臨みます。・資料のカタカナ名(サーベイランス)が、わかりにくかった。できたら、日本語でお願いしたいです。・努力は認めます。

No.	ご意見・ご感想
39	主婦の方の参加も多かったようです。専門用語がわからないようでした。
40	・質問の時間が短かった。以前、名古屋であった時はどいう方が参加していたが名簿があった。今回はわかりにくかった。・まだまだ、安心であると思えない。SRM除去の統一と洗浄の統一もあり、リスク検査じゃなく検証であるのが残念であった。
41	食料自給率40%の日本の現状に厳しさを感じます。日本の農業を守り、子孫繁栄を願って食品の安全性確保を願います。これからも、中立性を守って国民を守って下さい。
42	大変参考になりました。高くとも日本産の肉を食べようと思った。
43	意見交換で出た消費者のいろいろな意見を聞くだけではなく、今後の対策の検討に活かしていただきたいと思えます。
44	・BSE発生は、国の責任である。イギリスが発生した時から飼料を禁止しておれば問題にはならなかった。・トレーサビリティについての意見ですが、・外国では、ブロックで販売してるため、10ヶタ表示は出来るが、日本はスライスが多いため反対に不信を持っている。・コストのかかることを販売店に要望すれば必ず消費者に帰ってくる。その店を信用して購入する。悪ければ今後は購入しない。・国は机の上ばかりで、外国のマネばかりする傾向にある(食品に限らず)。何をすることも、末端から考えてほしい。
45	食品安全委員会の方の講演がわかりにくく、内容??厚働省の方以外のパワーポイントがごちゃついて見難かった気がします。
46	牛の月齢の問題で、なかなか月齢がわかりにくいと言う話を聞き、より不安になった。色々先生方は、安全について考えていられる事は、良く理解できましたが、実践、実証をより強化される事をお願い致します。
47	まだまだ安心は出来ない事を強く思いました。
48	時間が足らなかったのが残念でした。もう少し時間設定に余裕がほしい。
49	◎講演者の説明が早過ぎて理解出来ない。このような意見交換会をやれば良いという感じがした。◎人間の命の問題であり、危険性がある限り全頭検査を続けてほしい。
50	国産牛、全頭検査に入って安心していただいておりますが、リスク検査及び監視態勢の方よろしく願います。もう少しは全頭検査願いたく思っています。
51	折角の説明、聴講ですのに、説明が早口では困ります。もっと、じっくり納得出来る様、話すべきだと思います。安全局がやっていると言うだけでなく、監視を強化し、肥育者の真心正直、日本を支える責任感を持ってほしい。
52	食品安全委員会の方、声が小さくて聞き取りにくく思いました。答える時ははっきりと言ってほしかった。農水省の方ははっきり聞き取れました。